



Green Gift プロジェクト

きたネット PRESENTS ～親子で参加しよう、自然体験プロジェクト～

## じゃがいも畑でつかまえて・・・実施報告

### ～有機栽培の畑で土に触れる～

有機栽培のふかふかした土の中から掘り出すじゃがいもと、ミズナラの原木で育てたシイタケを収穫体験。手づくりの森のランチのあとは、畑の傍らの森遊び。豊かな感性を育む自然の中で、思いっきり、美味しく楽しい1日に！



開催日 2014年9月28日(日)

場所 新得町 宇井農場

内容 畑の野菜レクチャーとじゃがいも・シイタケの収穫～森で木に触れる遊びを体験

参加者 53名(うち子ども22名)

北海道の秋はじゃがいもの収穫の時期です。

今回は、じゃがいも畑で、有機農業の大切さなどの話を聞きながら、じゃがいもを掘り出しました。直接触れる土はふかふかで、その柔らかさに驚かされます。子どもたちは、土の中の虫を発見したり、イモの大小に驚きながらたくさんのじゃがいもを収穫していました。自分の手で探し当てたじゃがいもは格別のように、みんな満足げな笑顔でした。



続いてシイタケの収穫です。農園の方に栽培の難しさを聞いたり、ほだ木の選び方や自宅の栽培する際のアドバイスをもらいました。ほだ木になっているシイタケの収穫は根元が固く、もぐのがとても大変でした。シイタケは苦手な子どもが多いのですが、関心を持つことで美味しくなることもあるのではないのでしょうか。



収穫したじゃがいもとシイタケはランチで試食。じゃがいもは丸ごと焚き火の中へ、シイタケはプレートで焼いていただきました。その他のメニューは、地域の食材を中心とした「コロッケバーガー、野菜だけのスープ、新そばの蕎麦がき」、マヨネーズやソースも素材からの手づくりです。どれも好評で、大鍋のスープもほとんどなくなるという、嬉しい驚きでした。本当の美味しさは子どもたちにもわかるようです。ランチ中のライブでは、オーナーの有機農業を続ける哲学が、音楽で表現されていました。





ランチの後は、大人のゆったりした時間と、子どもたちの遊びの時間です。子どもたちは森のハンモックでブランコやターザンをしたり、拾ったドングリでお店を開いたり、いろいろな遊びを考え出していました。初めてであった子どもたちもあっという間に仲良くなり、思いきり遊び、のびのびとした子どもの笑顔は平和そのもの。自然の中にいることで育まれる感性を大切にしてもらいたいと思いました。



### Green Gift プロジェクトとは

東京海上日動火災保険株式会社が、ご契約時にお客様に「ご契約のしおり(約款)」等をホームページで閲覧する方法を選択いただくことにより、紙資源の使用量削減額の一部で環境保護活動をサポートするものです。

2013年より各地域の環境NPOと協力して、主に子どもたちとそのご家族を対象とした環境保護に関する体験活動を行います。

環境保護に関する体験活動を通じて、子どもたちが身近なところから環境について考えるきっかけを持つことによって、持続可能な社会が実現することを目指しています。

共催  協賛  東京海上日動 協力  環境省

主催：認定 NPO 法人北海道市民環境ネットワーク、スローフード フレンズ北海道

共催：認定 NPO 法人日本 NPO センター

協力：環境省北海道環境パートナーシップオフィス

協賛：東京海上日動火災保険株式会社

後援：環境省

運営協力：宇井農場